

## 目 次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
(2)	人材需要の動向等社会の要請	3



## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

情報データ科学部の学生定員の設定にあたっては、学内における学生定員の再配分により、大学全体の学生定員を増減させないことを前提とし、工学部情報工学コース50名<sup>※1</sup>のほか、教育学部の学生定員見直しによる60名を加え、110名としている。

なお、本学工学部は1学科（6コース）のため、コースごとの入学者数は公表されていないが、学部全体の志願倍率は2.8倍であり、情報工学コースも受入上限の目安である50名を充足している。

学生定員110名の確保見通しについては、第三者機関に依頼して実施した、主に本学部を受験するターゲットとして想定される九州北部（長崎県、佐賀県、福岡県、熊本県及び大分県）に所在する高校の高校2年生を対象とするニーズ調査の結果において、「情報データ科学部を受験し、入学し、かつインフォメーションサイエンスコースまたはデータサイエンスコースで学びたい」と答えた者は全回答者のうち17%（559名）で入学定員の約5.1倍であったことから、110名の入学定員を十分に確保できると考えている。

また、情報系学部における全国的な状況としては、類似学部として平成30年4月開設の広島大学情報科学部、平成29年4月開設の滋賀大学データサイエンス学部及び名古屋大学情報学部があり、平成30年度一般入試（前期、後期試験）の志願倍率は広島大学3.6倍、滋賀大学4.2倍、名古屋大学3.5倍で、いずれも3倍を超えるニーズがあり、全国的にも需要があることが伺える。

併せて、本学部の所在する長崎県には、平成28年4月開設の長崎県立大学情報システム学部に、本学部の教育内容と類似する情報システム学科<sup>※2</sup>があり、同学科の志願倍率も7.9倍（入学定員28名、志願者数222名）と高いことから、地域にも高いニーズがあると考える。

学生定員110名の教育体制については、情報データ科学部は情報データ科学の1学科で、インフォメーションサイエンスコースとデータサイエンスコースの2コースを設置するため、原則としてコースごとの学生定員の設定は行わないが、学生には、2年次に所属コースを選択させ、インフォメーションサイエンスコースを担当する教員13名（教授6名、准教授3名、助教4名）で情報技術実践系科目をベースとした情報セキュリティ系及び応用系科目（IoT、SE分野）を、データサイエンスコースを担当する教員13名（教授5名、准教授6名、助教2名）で統計学系科目をベースとしたAI系科目及び応用系科目（医療・生命、社会・観光分野）を教授することとなるため、各コースの学生数は、概ね入学定員の半数が目安となる。これらをS/T比で見た場合、学部全体のS/T比は完成年度で17.6、卒業研究を担当する准教授以上の教員は19名であるためS/Tは5.8で、工学部情報工学コース<sup>※3</sup>と同程度であり、教育の質保証の観点から見ても、学生定員110名は適正である。

【資料1-1 平成28年度～平成30年度 長崎大学地区別入学者内訳】

【資料1-2 類似学部等における平成30年度一般入試（前期・後期）志願状況】

- ※1 工学部工学科は1学科6コース制であるため、コースごとの学生定員は設定されておらず、教員数及びこれまでの志願者のコース希望動向等を踏まえて、コースごとの受入上限の目安を設けている。
- ※2 長崎県立大学情報システム学部には、情報システム学科と情報セキュリティ学科の2学科があるが、情報セキュリティ学科は情報セキュリティ教育に特化した学科で、本学部の教育内容とは異なるため、比較対象としていない。
- ※3 工学部情報工学コースでは学生数50名に対し、教員数12名（教授4名、准教授5名、助教3）で教育を行っているため、コースのS/T比は16.6、卒業研究におけるS/T比は5.5となる。

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

平成30年11月に第三者機関（株式会社 進研アド）に依頼し、本学の主な学生募集エリアである長崎県、佐賀県、福岡県、熊本県及び大分県に所在する高校の高校2年生に対して調査を実施し、3,281名から回答を得た。回答者の属性概要は、在籍高校の所在地は本学所在地である「長崎県」が48.6%を占め、次に「福岡県」が24.9%と続く。所属クラスは、本学部が理数系基礎学力を重視する学部であり、理系クラス所属者に優先して調査実施を依頼したため、「理系クラス（理系コース）」が83.8%を占めた。また、高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」が92.3%で最も多く、次いで「私立大学に進学」が20.1%であった。回答者の属性及び高校卒業後の希望進路から、本学部がターゲットとする対象に調査を実施できていると考えられる。

回答者全体における入学意向は、「受験したい」が19.6%（643名）で、そのうち「入学したい」は受験したいと答えた者の92.1%（592名）で受験意向と入学意向に大きな差を生じていない。また、入学したいと答えた者592名のうち、「インフォメーションサイエンスコースで学びたい」が48.1%（285名）、「データサイエンスコースで学びたい」が46.3%（274名）で、受験したい、かつ入学したいと答えた者の94.4%（559名）で、入学定員の約5.1倍であることから、志願倍率と受験倍率が大きく乖離することはないと考えられる。

なお、ここで注目すべきは、定員充足の見込みが確認できたことに加え、「受験したい」かつ「入学したい」と答えた者の約95%が「学びたいコースを」明確にしている点で、この結果は、国立大学の情報系新学部として単に興味を示しているだけではなく、「本学部で何を学び、何を身につけるかをきちんと理解している」ということであり、このことからも、確保の見通しとして信頼できる数値であり、本学部の教育内容は高校生のニーズを的確に捉えているとも言える。

さらに、本学部に入学する可能性がより高いと考えられる「国公立大学に進学」を考えている回答者3,027名のうち、受験かつ入学意向があると回答した者は17.9%（542名）であり、更にターゲットを綿密に限定する観点から、本学部の学問分野と関連する「情報工学・情報科学・データサイエンス」に興味があると答えた者750名でみると、「受験し入学したい」と答えた者のうち「データサイエンスコース希望」が20.0%（150名）、「インフォメーションサイエンスコース希望」が28.8%（216名）の合計48.8%（366名）あり、他の学問分野関心層と比べ割合が高かった。興味のある学問分野に絞って比較検討を行った場合でも、入学定員の3.3倍を上回る入学意向者があることから、長期的かつ安定的に学生が確保できると考えられる。

## 【資料2 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称）設置に関するニーズ調査 高校生対象 調査結果】

## ウ 学生納付金の設定の考え方

本学の初年度納付金は、817,800円（授業料年額 535,800円、入学金 282,000円）で、近隣の国立大学法人と同額である。

### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

情報データ科学部の学生を確保するために、以前より活動している広報ワーキンググループを中心に新学部専任教員で協力し、主に以下の取組を行う。

#### (ア) 高校訪問

ニーズ調査の際、長崎県内の高等学校数か所に足を運び、直接調査用紙及びリーフレットを手渡し、進路指導教員等に本学部の概要説明を行っている。設置申請後は、調査の際に訪問した高校を含め、長崎県内の多くの高等学校を訪問し説明を行うとともに、県内のみならず、佐賀県、福岡県、大分県、熊本県等の高等学校にも足を運び、学部の広報活動に積極的に取り組む。

#### (イ) オープンキャンパス

本学で7月に行われるオープンキャンパスにおいて、本学部の理念、入試制度、カリキュラム、及び卒業後の進路などについて説明を行う。なお、最初のオープンキャンパスは開設前年度のため、工学部情報工学コースの研究室を紹介する予定である。

#### (ウ) ホームページやパンフレット等による広報

情報を自ら探す主体的で優秀な学生を確保するとともに、広く一般に情報公開を行うことを目的とし、ホームページを作成する。具体的には、設置認可申請後の4月を目途に概要程度のホームページを立ち上げ、早い段階から学生の進路選択の参考となる情報を公開するとともに、設置認可後は本格的に情報を公開する。

また、パンフレットについても同様に学部独自のものを作成し、高校訪問、オープンキャンパス等で配布するとともに、本学が発行している広報誌「CHOHO（チョーホー）」に本学部の情報を掲載し、学生のみならず、保護者や地域企業など、より多くの人に知ってもらう機会をつくる。

### (2) 人材需要の動向等社会の要請

#### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

我が国が超スマート社会（Society5.0）を実現し、これから直面する人口減少、超高齢化社会に柔軟かつ適切に対応していくためには、フィジカル空間（現実空間）から蓄積される膨大なデータをサイバー空間（仮想空間）に適切に集め、組み合わせ、分析し、その結果を実社会にフィードバックしていくことが必要である。情報技術革新に適応した新たな産業や社会の仕組みそのものの創出の必要性などの社会構造の大きな変革を受け、第5期科学技術基本計画、日本再興戦略等の様々な提言・報告書等において、「ITを駆使しクリエイティブな発想で我が国の強みをさらに伸ばすことができる人材育成が急務」と指摘されているが、2020年には約37万人のIT人材、特に「データ・AI人材」の不足は深刻さを増すとされており、このような状況を踏まえ、様々な施策により現役世代に対する学び直しの機会充実による高度専門人材の養成が進められている。

また、今後長期間にわたり時代の変革に適切に対応するためには、次世代を担

う若い人材の養成が必要であり、学習指導要領の改訂により小・中学校における理数教育の充実が図られているところであるが、「日本経済 2016-2017（平成 29 年 1 月、内閣府）」における『データサイエンティストの定義』に当てはまる人材には「統計学に関する知識」、「ビジネスを理解したうえで問題発見・解決ができる能力」、「分析で得られた知見を他人に伝えるコミュニケーション能力」などが必要とされている。これらの能力の修得には、単一的な専門教育だけではなく、基礎となる数学、物理学、統計学、コンピュータ科学、プログラミング言語から応用科目（社会学、人文学、経済学）など、文系・理系の枠を超えた様々な学問分野にアクセスでき、多様な視点を養うことができる教育環境が必要である。

このような社会的背景・要請を受け、本学では、これまで情報工学教育を担ってきた工学部情報工学コースを核に、数学・統計学などの基礎学問分野や本学の強みを生かした医療・生命分野及び社会・観光分野を中心としたデータサイエンスリソースを加え、情報科学とデータ科学を効果的に組み合わせた、従来にない新たな教育研究組織として「情報データ科学部」を設置する。教育課程では、データサイエンススキルの修得に不可欠な基礎数学や、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア及びネットワーク技術の基礎を修得するコンピュータ科学並びにコミュニケーション科目を全学生に修得させ、2 年次にコースを選択させ、情報科学を学び IoT、SE 分野で「作る」を担うインフォメーションサイエンティスト、データ科学を学びビッグデータの活用分野として期待されている医療・生命分野及び社会・観光分野で「創る」を担うデータサイエンティストを養成するとともに、所属コースに関わらず、自分が目指す将来に必要な科目を選択し履修できるカリキュラムを編成し、情報科学とデータ科学双方の学問領域に精通させることで、これまでにない新たな価値を創造しうる人財を養成し、社会的要請・ニーズに応えようとするものである。

## ② 社会的、地域的な人材需要の動向

平成 30 年 11 月に第三者機関（株式会社 進研アド）に依頼し、新学部の卒業生就職先として想定される、本学工学部卒業生の採用実績がある全国の企業、及び県内の情報系企業 950 社を対象に調査を実施し、412 企業から回答を得た。

はじめに、回答者の属性について人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は 21.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は 66.5% で、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。

また、アンケートでは、本学部で養成する「進化するこれからの社会に必要な、情報・データ科学分野の高度な専門知識をもち、ビジネス・観光・医療や、ロボット開発・システム開発の分野などで活躍できる人財」について魅力を感じると回答した企業が 90.5%、また、本学部の社会的必要性についての評価に「必要だと思う」と回答した企業は 97.8% といずれも極めて高く、ほぼ全ての企業が、これからの社会にとって必要な学部・学科であると評価していることが伺える。

さらに、本学部の卒業生に対する採用意向について、「採用したいと思う」と回答した企業は 79.9%（329 企業）、さらに、「採用したいと思う」と答えた 329 企業に、本学部卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数を明確に回答した企業は 167 企業、採用想定人数の合計は入学定員の 2 倍を上回る 256 名であった。この他、本学部卒業生を「採用したいと思う」が、「採用人数は未確定」と回答した企業が 161 企業あったことからも、本学部で養成する人財は社会的要請・ニーズにマッチしており、安定した人材需要がある

といえる。

【資料3 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書 企業対象 調査結果】

## 学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

資料 1-1 平成 28 年度～平成 30 年度 長崎大学地区別入学者内訳・・・・・・・・・・・・ 1

資料 1-2 類似学部等における平成 30 年度一般入試（前期・後期）志願状況・・・・・・・・ 2

資料 2 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称）設置に関する  
ニーズ調査 高校生対象 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

資料 3 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称）設置に関する  
ニーズ調査結果報告書 企業対象 調査結果・・・・・・・・・・・・ 21



平成28年度～平成30年度 長崎大学地区別入学者内訳

地区	県	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計	平均	割合
九州 北部	長崎	571	578	574	1,723	574	34.5%
	佐賀	103	104	109	316	105	6.3%
	福岡	408	390	348	1,146	382	22.9%
	熊本	91	63	96	250	83	5.0%
	大分	76	71	87	234	78	4.7%
九州 南部	宮崎	66	81	78	225	75	4.5%
	鹿児島	43	53	52	148	49	3.0%
	沖縄	29	33	31	93	31	1.9%
	四国	22	16	21	59	20	1.2%
	中国	82	88	87	257	86	5.1%
近畿	62	79	71	212	71	4.2%	
中部	33	34	38	105	35	2.1%	
関東	47	44	55	146	49	2.9%	
東北	6	9	6	21	7	0.4%	
北海道	13	13	14	40	13	0.8%	
外国(ほか)	7	6	8	21	7	0.4%	
計	1,659	1,662	1,675	4,996	1,665	100.0%	

(注記) 平均及び割合(小数点未満四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある。

<資料出典>※外部非公表  
平成28年度～30年度 長崎大学都道府県別入学者（学生支援部入試課作成）



類似学部等における平成30年度一般入試（前期・後期）志願状況

大学名	学部名	学科名	入試区分	入学定員	志願者数	志願倍率	備考
長崎大学	工学部	工学科	前期	263	495	1.9	
			後期	50	373	7.5	
			計	313	868	2.8	
広島大学	情報科学部	情報科学科	前期	72	224	3.1	
			後期	6	53	8.8	
			計	78	277	3.6	
滋賀大学	データサイエンス学部	データ サイエンス学科	前期	50	156	3.1	
			後期	20	140	7.0	
			計	70	296	4.2	
名古屋大学	情報学部	人間情報科学科	前期	30	113	3.8	後期試験は実施していない
		人間・社会情報学科	前期	30	111	3.7	
		コンピュータ科学科	前期	53	166	3.1	
長崎県立大学	情報システム学部	情報システム学科	計	113	390	3.5	情報セキュリティ学科 (は教育内容が異なるため比較対象としない)
			前期	20	76	3.8	
			後期	8	146	18.3	
			計	28	222	7.9	

&lt;資料出典&gt;

- 平成30年度 広島大学個別学力検査入学志願者状況
- 平成30年度 滋賀大学入学者選抜資料
- 平成30年度 名古屋大学一般入試(前期日程・後期日程)出願状況
- 平成30年度 長崎県立大学一般入試志願状況
- 平成30年度 長崎大学一般入試志願状況



---

---

**長崎大学  
「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】**

---

---

**平成31年1月  
株式会社 進研アド**

© Shinken Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2020年4月開設予定の長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生(理系クラス優先)
調査エリア		福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県
調査方法		高校留置き調査
調査 対象数	依頼数 (依頼校数)	4,182人(31校)
	有効回収数 (回収校数)	3,281人(28校) 有効回収率:78.5%
調査時期		2018年11月12日(月)～2018年11月30日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への受験意向</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」入学後の希望コース</li><li>・大学院進学・医学部編入学へのニーズ</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、長崎大学の「情報データ科学部 情報データ科学科」に対する需要を確認するための調査として設計。長崎大学の主な学生募集エリアである福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、3,281人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が57.8%、「女性」が41.8%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が89.9%、「私立」が10.1%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、長崎大学の所在地である「長崎県」が48.6%を占め、最も多い。次に「福岡県」が24.9%と続く。
- 理系クラス所属者に優先して調査実施を依頼したため、回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が83.8%を占める。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」が92.3%で最も高い。次いで「私立大学に進学」が20.1%。国公立大学への進学志望者が9割を占めることから、長崎大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「工学」が37.1%で最も高い。次いで、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の学びと関連する「情報工学・情報科学・データサイエンス」が22.9%、さらに、「医・歯・薬学」が22.5%と続く。

## 高校生対象 調査結果まとめ

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において7割を超える。
- ・最も魅力度が高いのは、「A. これからの社会において、ビジネス・観光・医療やロボット開発・システム開発をはじめとする様々な分野に、情報・データ科学分野の知識・能力が必要になるといわれています。これらの知識・能力を修得し、社会において活躍できる人財を養成します。」(84.2%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も27.6%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「E. 「インフォメーションサイエンスコース」では、情報科学の高度な専門知識、IT能力を必要とする企業・自治体で活躍できる人財を養成します。」(77.7%)、さらに「C. 1年次で数学、情報科学やデータ科学の基礎を学び、2年次からAI、IoT(インターネット・オブ・シングス)、IT、情報セキュリティ、ビッグデータの処理や分析などの専門科目を、描いた将来に合わせて選択し、学ぶことができます。」(76.5%)と続く。

※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への受験意向・入学意向・希望コース

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、19.6%(643人)である。
- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」を「受験したいと思う」と答えた643人のうち、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、92.1%(592人)である。
- ・「情報データ科学部 情報データ科学科」に対して「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と答えた592人のうち、「データサイエンスコースで学びたい」と回答した人は46.3%(274人)、「インフォメーションサイエンスコースで学びたい」と回答した人は48.1%(285人)と、ほぼ同程度の割合。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への 入学意向者数

※ここからは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答し、さらにQ6で「データサイエンスコースで学びたい」または「インフォメーションサイエンスコースで学びたい」と回答した人を【入学意向者】と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は、「受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望」が8.4%（274人）、「受験したい&入学したい&インフォメーションサイエンスコース希望」が8.7%（285人）で、合計17.0%（559人）。予定されている入学定員110人を5倍以上上回っている。

### ◇性別

- 「男性」の入学意向は22.3%（1,895人中、423人）、「女性」の入学意向は9.8%（1,372人中、135人）と、男性の方が入学意向は高い。（ただし、男女ともに予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられる。）

### ◇高校所在地別

- 長崎大学の所在地である「長崎県」の高校在籍者からの入学意向は18.9%（1,596人中、301人）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。
- また、「福岡県」の高校在籍者からの入学意向も17.4%（818人中、142人）、「熊本県」の高校在籍者からの入学意向も17.4%（121人中、21人）みられた。

### ◇所属クラス別

- 「理系クラス（理系コース）」在籍者からの入学意向は18.4%（2,750人中、505人）と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

### ◇高校卒業後の希望進路別

- 長崎大学を受験・入学する可能性が高い「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は17.9%（3,027人中、542人）と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

## ◇興味のある学問系統別

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の学問内容と関連する「情報工学・情報科学・データサイエンス」に興味がある回答者の入学意向は、「受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望」が20.0%（150人）、「受験したい&入学したい&インフォメーションサイエンスコース希望」が28.8%（216人）で、合計48.8%（750人中、366人）と、他の学問系統関心層と比べて高く、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。
- ・その他、「工学」に興味がある回答者の入学意向は26.9%（1,217人中、327人）、「理学」に興味がある回答者の入学意向は20.4%（612人中、125人）と比較的高く、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。
- ・「社会学・マスコミ学」に興味がある回答者の入学意向は19.9%（146人中、29人）、「観光学」に興味がある回答者の入学意向は25.0%（156人中、39人）、「心理学」に興味がある回答者の入学意向は14.1%（396人中、56人）、「経済・経営・商学」に興味がある回答者の入学意向は17.4%（379人中、66人）で、文系の学問関心者からも一定の入学意向がみられた。

## ◇希望進路別×興味のある学問系統別

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に入学する可能性がより高いと考えられる、「国公立大学に進学」を希望しており、かつ「情報工学・情報科学・データサイエンス」に興味がある回答者の入学意向は、「受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望」が20.5%（147人）、「受験したい&入学したい&インフォメーションサイエンスコース希望」が29.4%（211人）で、合計49.9%（717人中、358人）。  
ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

## 高校生対象 調査結果まとめ

---

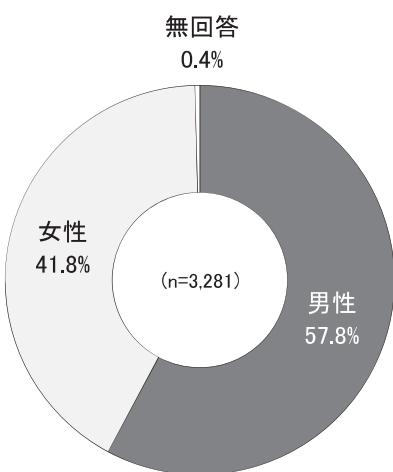
### 大学院進学・医学部編入学へのニーズ

- 大学院進学・医学部編入学へのニーズとしては、「更に専門性を高めるため、情報系または工学系の大学院に進学」が27.6%、「医療分野応用に可能性を感じるので、医学部に編入学(長崎大学医学部への編入の場合、編入試験に合格すれば、医学部2年生として編入学できる)」が19.0%、「社会観光系応用の視野を広げるため、経済系、社会学系の大学院に進学」が11.1%の順。
- ただし、「現時点では卒業後に大学院や他学部に進学・編入学するつもりはない」が40.9%で最も多い。

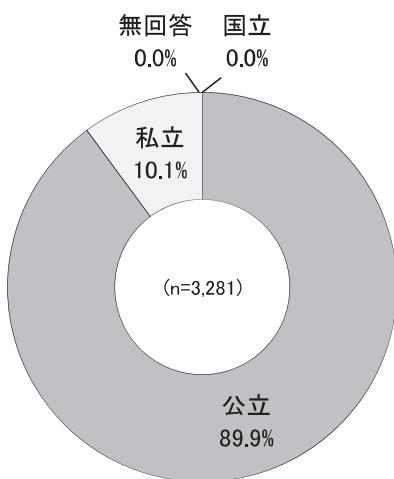
## 高校生対象 調査結果

## 回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

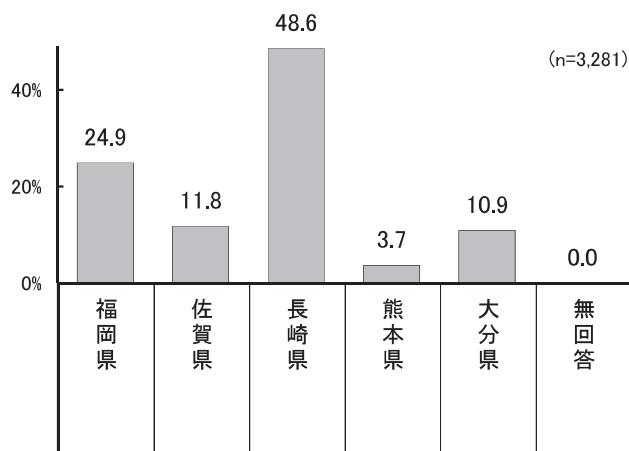
### ■性別



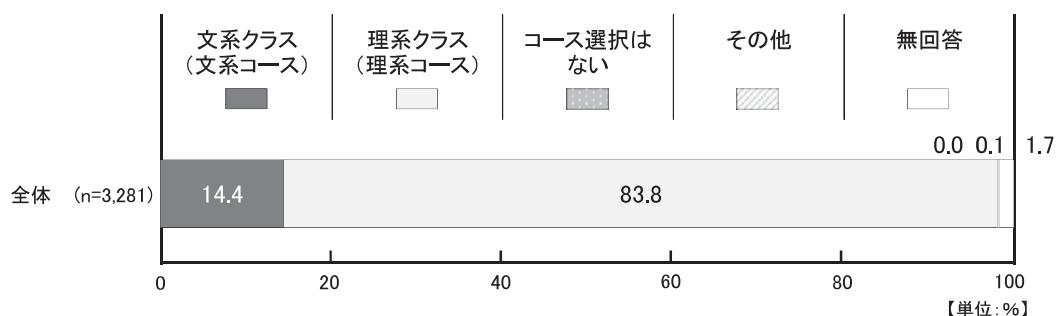
### ■高校種別



### ■高校所在地



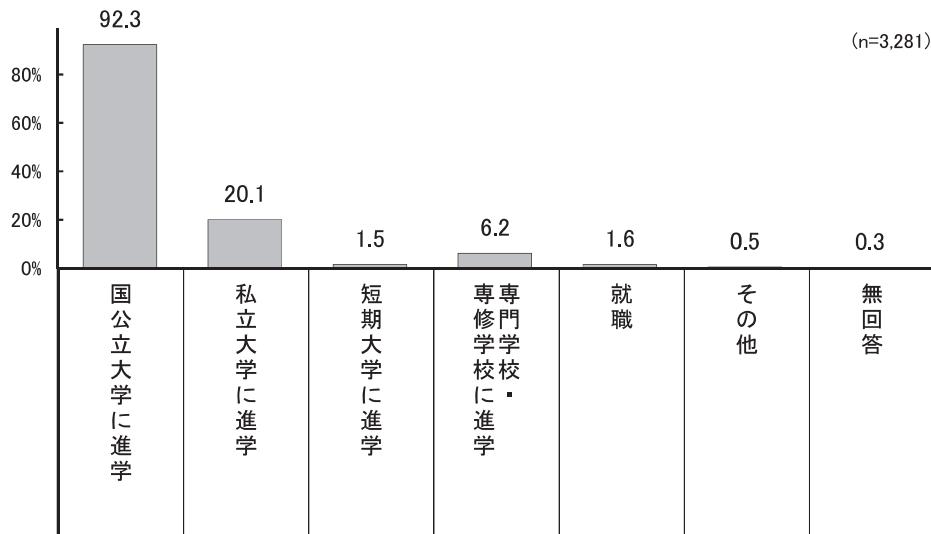
### ■所属クラス



# 高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

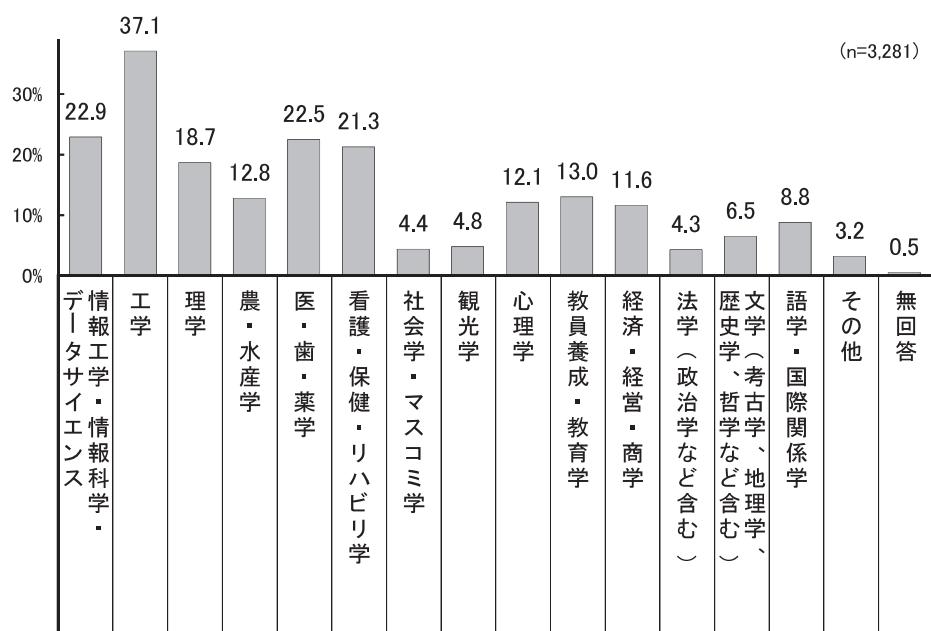
## ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



## ■興味のある学問系統

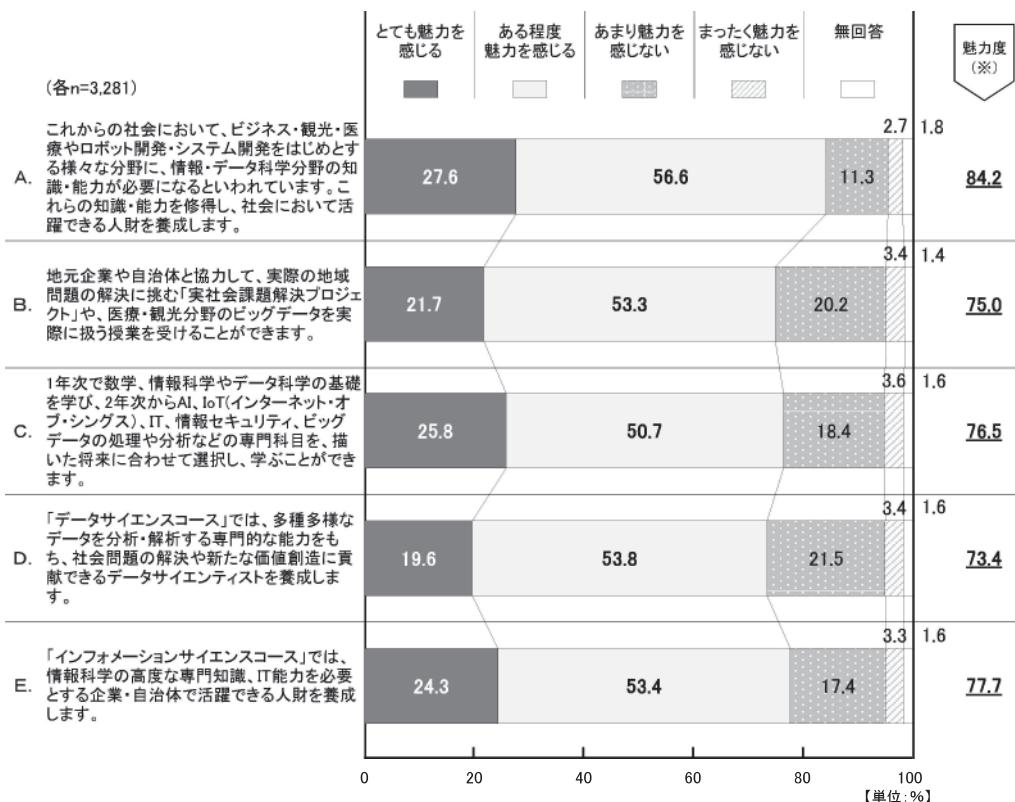
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点では進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

Q3. 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。  
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



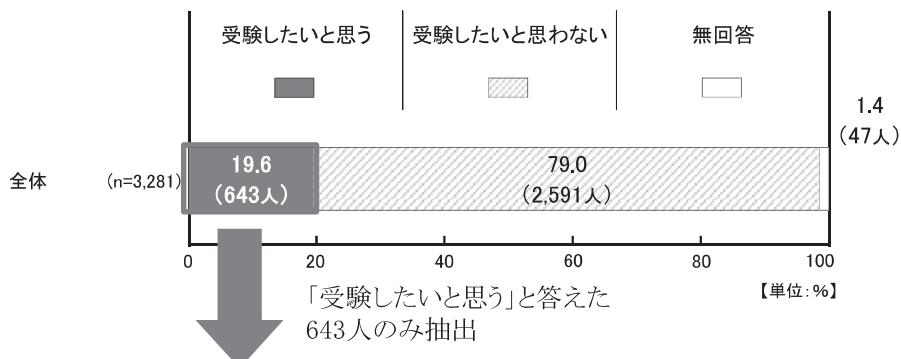
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への受験意向／入学意向／入学後の希望コース

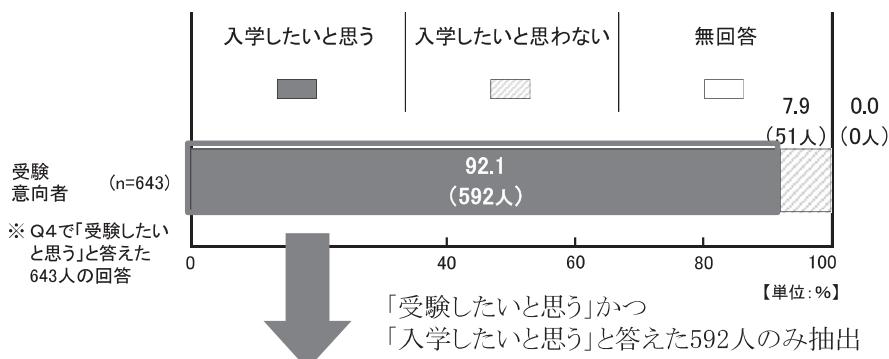
## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への受験意向

Q4. あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を受験してみたいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



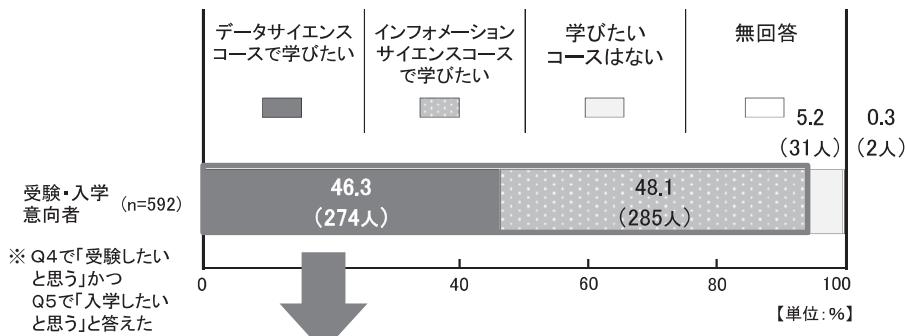
## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向

Q5. あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)に合格したら、入学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」入学後の希望コース

Q6. 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)では、入学後に「データサイエンスコース」と「インフォメーションサイエンスコース」のどちらかを選択して学びます。  
あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)で学ぶとしたら、どちらのコースで学びたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



【「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」かつ、  
入学後にどちらかのコースで「学びたい」と回答した人】を  
長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向者と定義する。

# 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向者数 属性別傾向

## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向者数 属性別傾向

※【「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」かつ、  
入学後にどちらかのコースで「学びたい」と回答した人】を  
長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」への入学意向者と定義する。

		入学意向(%)		入学意向 【単位:%】	入学意向者数		
		受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望	受験したい&入学したい&インフォメーションサイエンスコース希望		受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望	受験したい&入学したい&インフォメーションサイエンスコース希望	受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望
全体	(n=3,281)	8.4	8.7	17.0%	274人	285人	559人
性別	男性 (n=1,895)	10.3	12.0	22.3%	196人	227人	423人
	女性 (n=1,372)	5.6	4.2	9.8%	77人	58人	135人
高校所在地別	福岡県 (n=818)	9.3	8.1	17.4%	76人	66人	142人
	佐賀県 (n=388)	7.2	6.7	13.9%	28人	26人	54人
	長崎県 (n=1,596)	8.6	10.2	18.9%	138人	163人	301人
	熊本県 (n=121)	9.1	8.3	17.4%	11人	10人	21人
	大分県 (n=358)	5.9	5.6	11.5%	21人	20人	41人
クラス属性別	文系クラス(文系コース) (n=473)	5.3	4.4	9.7%	25人	21人	46人
	理系クラス(理系コース) (n=2,750)	8.9	9.5	18.4%	245人	260人	505人
希望卒業高校進路別	国公立大学に進学 (n=3,027)	8.7	9.2	17.9%	264人	278人	542人
	私立大学に進学 (n=659)	7.7	8.6	16.4%	51人	57人	108人
興味のある学問系統別	情報工学・情報科学・データサイエンス (n=750)	20.0	28.8	48.8%	150人	216人	366人
	工学 (n=1,217)	11.7	15.2	26.9%	142人	185人	327人
	理学 (n=612)	10.6	9.8	20.4%	65人	60人	125人
	医・歯・薬学 (n=738)	9.5	4.9	14.4%	70人	36人	106人
	社会学・マスコミ学 (n=146)	11.0	8.9	19.9%	16人	13人	29人
	観光学 (n=156)	15.4	9.6	25.0%	24人	15人	39人
	心理学 (n=396)	7.8	6.3	14.1%	31人	25人	56人
	経済・経営・商学 (n=379)	6.6	10.8	17.4%	25人	41人	66人
その他	国公立大学に進学志望×情報工学・情報科学・データサイエンスに興味あり (n=717)	20.5	29.4	49.9%	147人	211人	358人

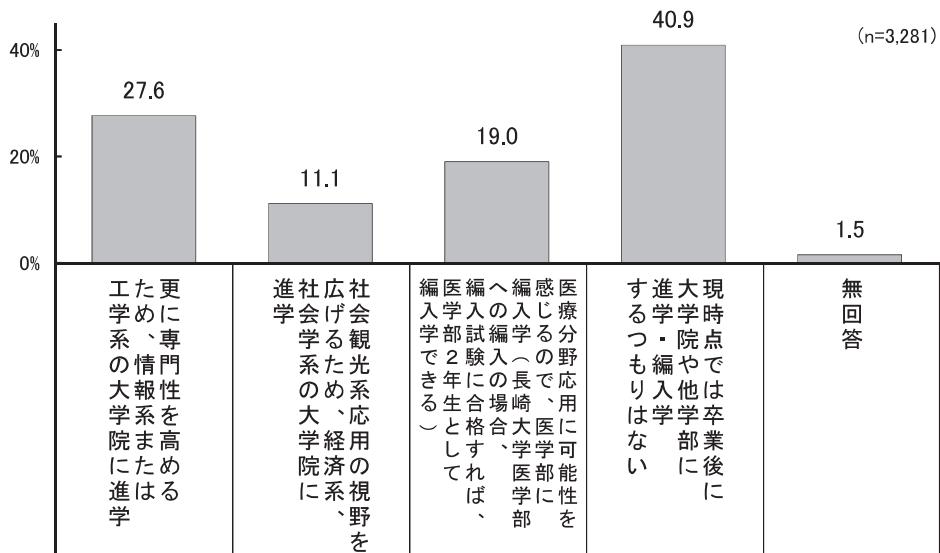
※入学意向は、「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」かつ、入学後にどちらかのコースで「学びたい」と回答した人数をもとに%を算出し、  
小数点第二位を四捨五入しているため、「受験したい&入学したい&データサイエンスコース希望」と「受験したい&入学したい&インフォメーション  
サイエンスコース希望」の割合の合計値とは、必ずしも一致しない。

# 大学院進学・医学部編入学へのニーズ

## ■大学院進学・医学部編入学へのニーズ

Q7. 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)では、卒業後に企業や官公庁等へ就職する以外にも、さらに専門性を高める進路として、以下のようなものが考えられます。

以下の項目から、あなたが、現時点で一番魅力を感じる進路の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



## 卷末資料

•調查票

# 調査票

高校2年生のみなさんへ

## 長崎大学 情報データ科学部 情報データ科学科（仮称、設置構想中） に関するアンケート

長崎大学では、2020年4月より、「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称）を新設することを構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、長崎大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「情報データ科学部 情報データ科学科」（仮称、設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

1. 回答は、あてはまる番号に「〇」印をつけてください。  
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。  
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルでよく書いてください。  
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。  
特に、「〇」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに〇印をつけてください



〇 情報工学

20

- |           |   |                                      |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 良い<br>記入例 | <input checked="" type="radio"/> 情報工学             | <input type="radio"/> 情報科学           |
| 悪い<br>記入例 | <input checked="" type="radio"/> 〇 情報工学<br>〇 情報科学 |                                      |
|           | <input checked="" type="radio"/> 情報工学<br>〇 情報科学   | <input type="radio"/> 情報工学<br>〇 情報科学 |
|           | <input checked="" type="radio"/> 情報工学<br>〇 情報科学   | <input type="radio"/> 情報工学<br>〇 情報科学 |

### ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに〇)	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性	学年 (1つに〇)	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 3年生
在籍高校	高校所在地 [ ] 都・道・府・県 <input type="radio"/> 国立 <input type="radio"/> 公立 <input type="radio"/> 私立 (←1つに〇)		
所属クラス (1つに〇)	<input type="radio"/> 文系クラス（文系コース） <input type="radio"/> 理系クラス（理系コース）	<input type="radio"/> コース選択はない <input type="radio"/> その他	

### ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

○ 1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに〇をつけてください。(いくつでも)

- 国公立大学に進学  短期大学に進学  就職  
 私立大学に進学  専門学校・専修学校に進学  その他( )

○ 2 あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに〇をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- |  |                                   |  |
|--|-----------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 情報工学・情報科学・データサイエンス | <input type="radio"/> 社会学・マスコミ学   | <input type="radio"/> 文学<br>(考古学、地理学、歴史学、哲学など含む) |
| <input type="radio"/> 工学                 | <input type="radio"/> 観光学         | <input type="radio"/> 語学・国際関係学                   |
| <input type="radio"/> 理学                 | <input type="radio"/> 心理学         | <input type="radio"/> その他<br>( )                 |
| <input type="radio"/> 農・水産学              | <input type="radio"/> 教員養成・教育学    |  |
| <input type="radio"/> 医・歯・薬学             | <input type="radio"/> 経済・経営・商学    |  |
| <input type="radio"/> 看護・保健・リハビリ学        | <input type="radio"/> 法学(政治学など含む) |  |

1

# 調査票

◆長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)についてお聞きします。

長崎大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2020年4月に、  
新しく「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください。※

Q3 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)には、以下のようないい處があります。  
それらの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

例。OOである	→	とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じる	まったく 魅力を 感じない
A. と/orする様々な分野に、情報・データ科学分野の知識・能力が必要になるといわれています。これらの知識・能力を修得し、社会において活躍できる人財を養成します。	→	①	②	③	④
B. 地元企業や自治体と協力して、実際の地域問題の解決に挑む「実社会課題解決プロジェクト」や、医療・観光分野のビッグデータを実際に扱う授業を受けることができます。	→	①	②	③	④
C. 1年次で数学、情報科学やデータ科学の基礎を学び、2年次からAI、IoT(インターネット・オブ・シングス)、IT、情報セキュリティ、ビッグデータの処理や分析などの専門科目を、描いた将来に合わせて選択し、学ぶことができます。	→	①	②	③	④
D. 「データサイエンスコース」では、多種多様なデータを分析・解析する専門的な能力をもち、社会問題の解決や新たな価値創造に貢献できるデータサイエンティストを養成します。	→	①	②	③	④
E. 「インフォメーションサイエンスコース」では、情報科学の高度な専門知識、IT能力を必要とする企業・自治体で活躍できる人財を養成します。	→	①	②	③	④

Q4 あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を受験してみたいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 受験したいと思う      ② 受験したいと思わない

Q5 あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)に合格したら、入学したいと思いますか。  
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 入学したいと思う      ② 入学したいと思わない

Q6 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)では、入学後に  
「データサイエンスコース」と「インフォメーションサイエンスコース」のどちらかを選択して学びます。

あなたは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)で学ぶとしたら、  
どちらのコースで学びたいと思いますか。

あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① データサイエンスコースで学びたい      ② 学びたいコースはない  
③ インフォメーションサイエンスコースで学びたい

Q7 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)では、卒業後に企業や官公庁等へ就職する以外にも、  
さらに専門性を高める進路として、以下のようないい處があります。  
以下の項目から、あなたが、現時点で一番魅力を感じる進路の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 更に専門性を高めるため、情報系または工学系の大学院に進学  
② 社会観光系応用の視野を広げるため、経済系、社会学系の大学院に進学  
③ 医療分野応用に可能性を感じるので、医学部に編入学  
(長崎大学医学部への編入の場合、編入試験に合格すれば、医学部2年生として編入学できる)  
④ 現時点では卒業後に大学院や他学部に進学・編入学するつもりはない

\* \* \* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。\* 2 \* \*

---

---

**長崎大学  
「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】**

---

---

**平成31年1月  
株式会社 進研アド**

© Shinken Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2019年4月開設予定の長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」新設構想に関して、企業からの採用ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

企業対象調査	
調査対象	企業の採用担当者
調査エリア	北海道、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
調査方法	郵送調査
調査 対象数	依頼数 951社
	回収数 (有効回収率) 412社(43.3%)
調査時期	2018年11月12日(月)～2018年11月30日(金)
調査実施機関	株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・勤務先の主な業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問系統</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の社会的必要性</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## **企業対象 調査結果まとめ**

# 企業対象 調査結果まとめ

## 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、長崎大学の「情報データ科学部 情報データ科学科」に対する需要を確認するための調査として設計。新学部の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、412企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は21.8%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が66.5%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が31.8%である。次いで長崎大学の所在地である「長崎県」が20.6%、「福岡県」が13.3%と続く。
- 回答企業の業種としては「製造業」が37.1%と最も多く、次いで「建設業」が20.1%、「情報通信業」が18.2%と多い。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が31.3%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が23.5%、「500名～1,000名未満」が14.1%である。

## 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問系統

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が25.2%で最も多い。次いで「10名～20名未満」が14.8%、「100名以上」が13.3%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が61.2%で最も多く、次いで「増やす」が27.9%が多い。回答企業の多くで昨年以上の採用が予定されている様子。
- 回答企業の採用したい学問系統を複数回答で聴取したところ、「工学系統」が76.7%で最も高い。次いで、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の学びと関連する「情報工学・情報科学・データサイエンス学系」が50.0%、さらに、「理学系統」が36.4%、「経済・経営・商学系」が30.3%と続く。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で7割を超える。
- ・最も魅力度が高いのは、「A. 進化するこれからの社会に必要な、情報・データ科学分野の高度な専門知識をもち、ビジネス・観光・医療や、ロボット開発・システム開発の分野などで活躍できる人財を養成します。」(90.5%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も51.9%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「E. 「インフォメーションサイエンスコース」では、実践的な授業を通じて、情報科学の高度な専門性を備え、ITを必要とする幅広い企業・自治体で活躍できる人財を養成します。」(90.0%)、さらに「C. 1年次で数学、情報科学やデータ科学の基礎をしっかりと学び、2年次からコースを選択して学びますが、選択したコース以外の分野でも、自分の興味・関心や将来の目標に合わせて幅広く学ぶことができます。」(89.1%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の社会的必要性

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の社会的必要性についての評価は、97.8%(403企業)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

## 企業対象 調査結果まとめ

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、79.9% (**329企業**) である。
- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた329企業へ「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数が確定している企業 (**167企業**) だけで、採用想定人数の合計は**256名**であった。  
この他に、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の卒業生を「採用したいと思う」が、「採用人数は未確定」と回答した企業が**161企業**あった。  
このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

### 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生に対する採用意向企業数と、採用想定人数／年

※ここからは、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答し、かつ、Q11で何らかの選択肢を回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義し、分析を行う。

- ・回答企業全体における採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が40.5% (**167企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が39.1% (**161企業**) で、合計79.6% (412企業中、**328企業**)。
- ・「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの、毎年の採用想定人数の合計は**256人**で、予定している入学定員数110名を2倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇本社所在地別

- ・「東日本」エリアに所在地のある企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が41.7%(**70企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が41.7%(**70企業**)で、合計83.4%(168企業中、**140企業**)。  
「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**118人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- ・「九州・沖縄」エリアに所在地のある企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が36.7%(**62企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が37.9%(**64企業**)で、合計74.6%(169企業中、**126企業**)。  
「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**86人**である。
- ・長崎大学の所在地である「長崎県」に本社所在地のある企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が36.5%(**31企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が37.6%(**32企業**)で、合計74.1%(85企業中、**63企業**)。  
「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**43人**である。

### ◇業種別

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ学科」の学問内容と関連する「情報通信業」の企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が57.3%(**43企業**)、「採用したいと思うが採用人数未確定」が40.0%(**30企業**)で、合計97.3%(75企業中、**73企業**)。  
「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**84人**である。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇採用予定別

- ・本年度正規社員の採用予定があると回答した企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が42.6%（**161企業**）、「採用したいと思うが採用人数未確定」が38.4%（**145企業**）で、合計81.0%（378企業中、**306企業**）。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**249人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

### ◇積極的に採用したい学問系統別

- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の学問内容と関連する「情報工学・情報科学・データサイエンス学系」を学んだ学生を積極的に採用したいと回答した企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が51.9%（**107企業**）、「採用したいと思うが採用人数未確定」が43.2%（**89企業**）で、合計95.1%（206企業中、**196企業**）。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**176人**で、予定している入学定員数を上回っている。
- ・「工学系」を学んだ学生を積極的に採用したいと考えている企業からの採用意向も、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が44.0%（**139企業**）、「採用したいと思うが採用人数未確定」が33.5%（**106企業**）で、合計77.5%（316企業中、**245企業**）。「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**217人**で、予定している入学定員数を上回っている。

## 企業対象 調査結果まとめ

---

### ◇社会的必要性別

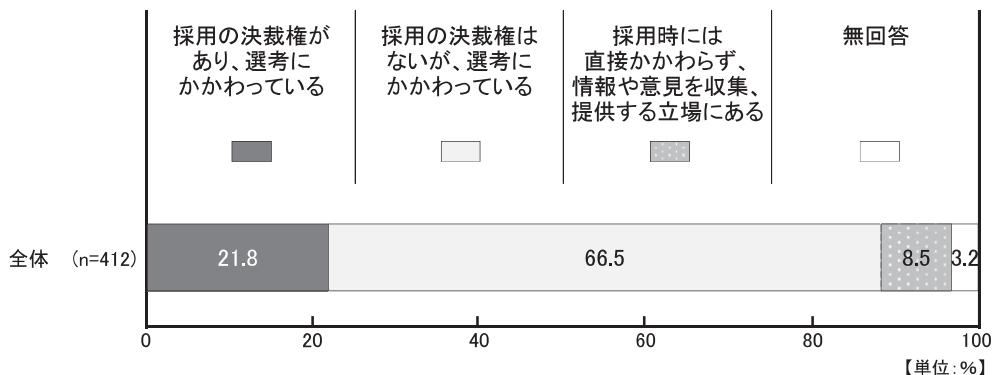
- ・長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」が社会的に「必要だと思う」と答えた企業からの採用意向は、「採用したいと思うかつ採用人数確定」が41.2%（**166企業**）、「採用したいと思うが採用人数未確定」が40.0%（**161企業**）で、合計81.2%（403企業中、**327企業**）。  
「採用したいと思うかつ採用人数確定」の企業からの採用想定人数の合計は**255人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

## 企業対象 調査結果

## 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度／本社所在地)

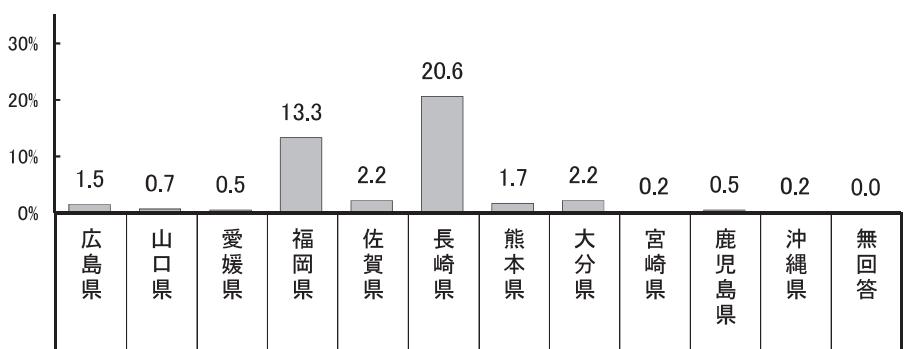
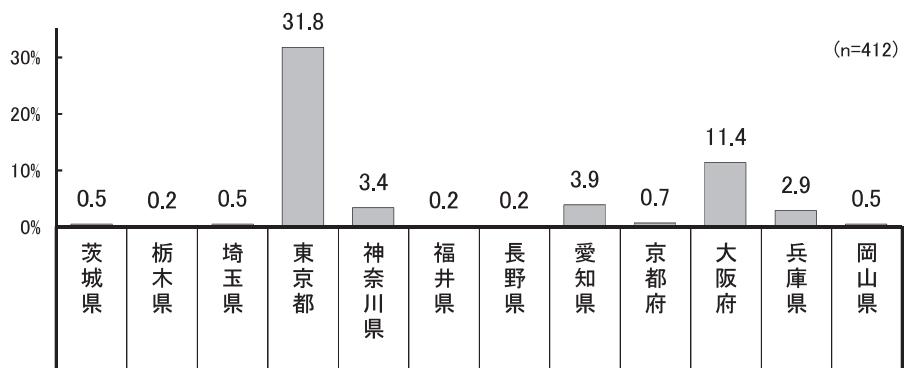
### ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。(あてはまる番号1つに○)



### ■本社所在地

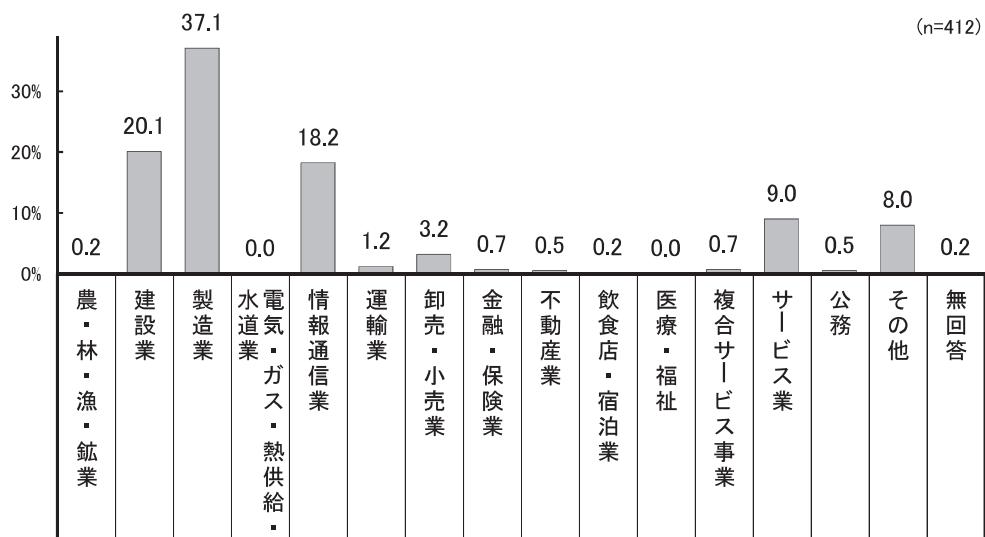
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えください。



## 回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種／従業員数)

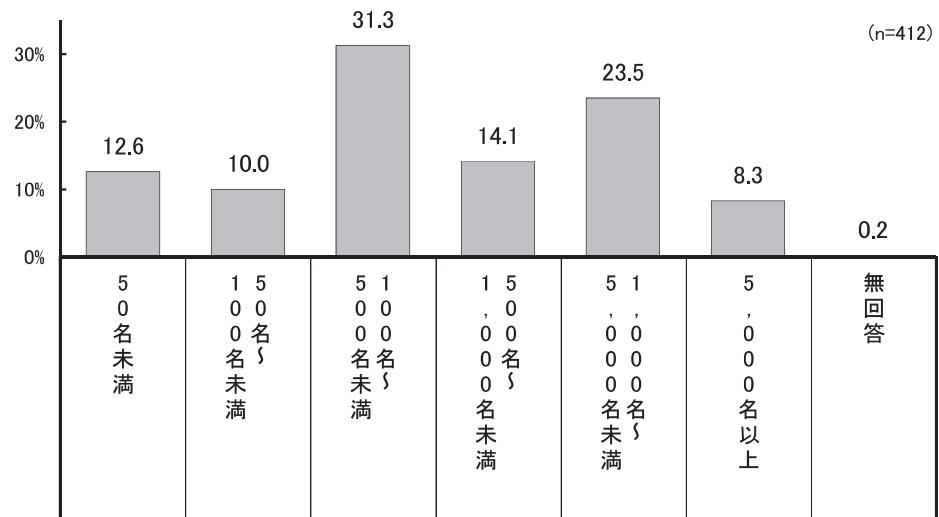
### ■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



### ■従業員数

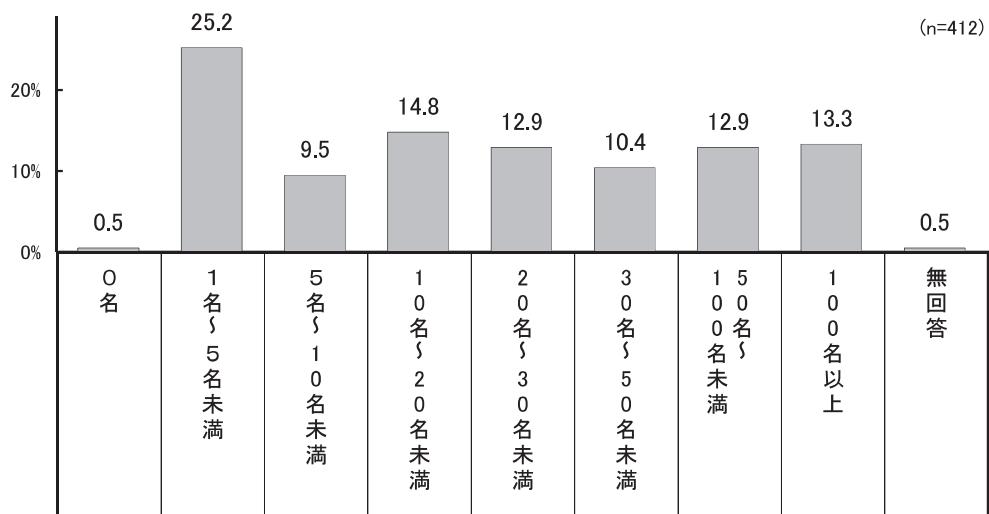
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

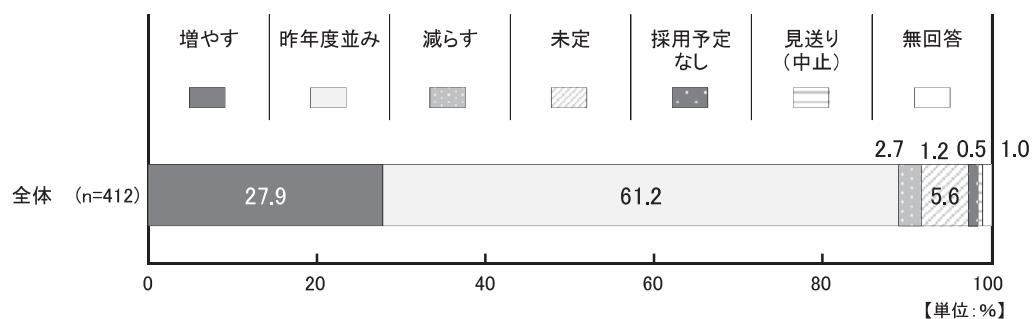
## ■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えください。



## ■本年度の採用予定数

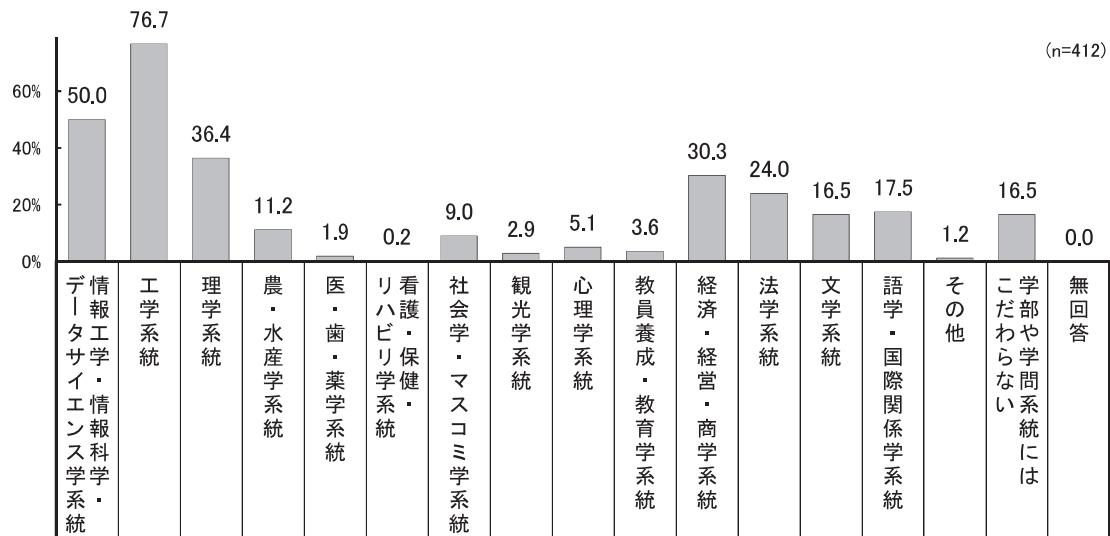
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問系統

## ■採用したい学問系統

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)



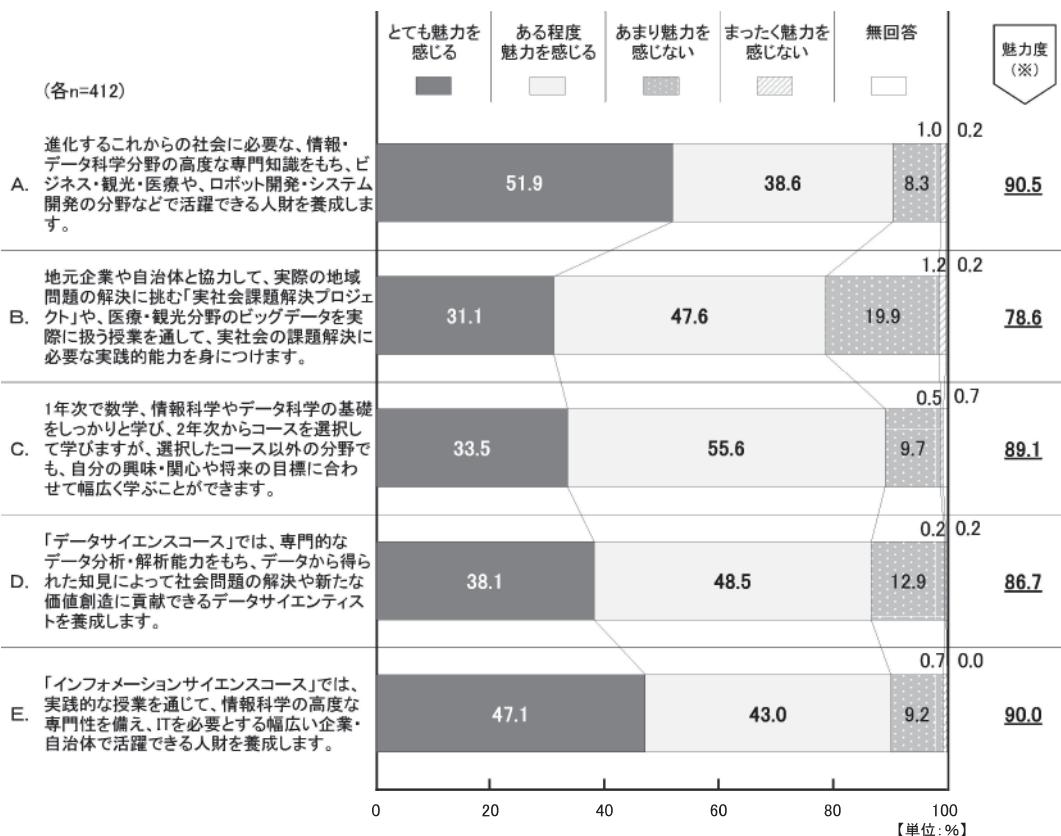
# 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の特色に対する魅力度

Q8. 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅を感じますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



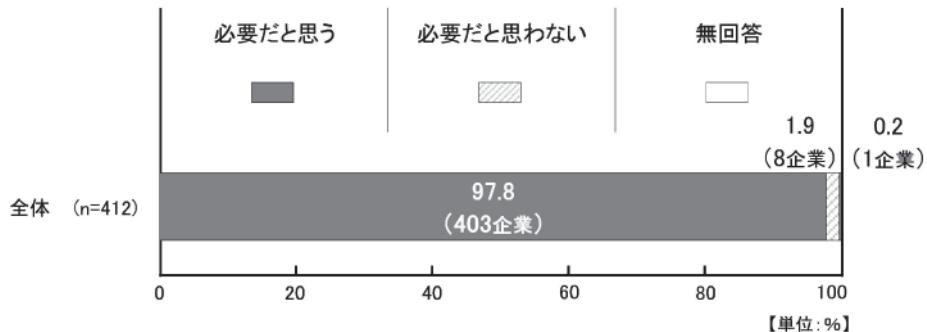
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

## 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

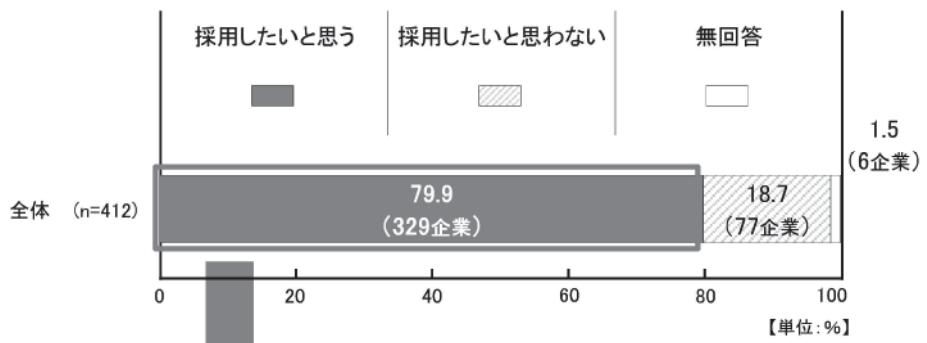
### ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)は、これからの中華人民共和国にとって必要だとと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



### ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた329企業のみ抽出

### ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。  
採用を考える場合、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定	毎年の採用想定人数・計
全体	329	%	32.5%	11.2%	6.1%	0.0%	0.9%	0.0%	48.9%
		企業数	107	37	20	0	3	0	161
		名	107	74	60	0	15	0	0
⇒									256

\* 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

# 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数 属性別傾向

## ■長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に対する採用意向／採用想定人数 属性別傾向

※長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」に対して、

Q10で「採用したいと思う」と回答し、かつ、Q11で何らかの選択肢を回答した企業を

【採用意向企業】と定義し、

さらに【採用意向企業】のうち、Q11で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。

		(n=412)	採用意向率(%)			採用意向企業数		
			採用したい・計	採用したいと思うかつ採用人数確定	採用したいと思うが採用人数未確定	採用したいと 思うかつ採用人 数確定	採用したいと 思うが採用人 数未確定	採用意向企 業・合計
全体		(n=412)	40.5	39.1	79.6%	167企業	161企業	328企業
本社所在地別	東日本	(n=168)	41.7	41.7	83.4%	70企業	70企業	140企業
	東京都	(n=131)	38.9	42.7	81.6%	51企業	56企業	107企業
	近畿・中四国	(n=75)	46.7	36.0	82.7%	35企業	27企業	62企業
	九州・沖縄	(n=169)	36.7	37.9	74.6%	62企業	64企業	126企業
	福岡県	(n=55)	40.0	38.2	78.2%	22企業	21企業	43企業
	長崎県	(n=85)	36.5	37.6	74.1%	31企業	32企業	63企業
業種別	建設業	(n=83)	44.6	27.7	72.3%	37企業	23企業	60企業
	製造業	(n=153)	39.9	41.8	81.7%	61企業	64企業	125企業
	情報通信業	(n=75)	57.3	40.0	97.3%	43企業	30企業	73企業
	サービス業	(n=40)	32.5	40.0	72.5%	13企業	16企業	29企業
	その他	(n=60)	20.0	46.7	66.7%	12企業	28企業	40企業
予採用	採用予定あり	(n=378)	42.6	38.4	81.0%	161企業	145企業	306企業
	情報工学・情報科学・データサイエンス系	(n=206)	51.9	43.2	95.1%	107企業	89企業	196企業
積極的 学問系採用 系統別	工学系	(n=316)	44.0	33.5	77.5%	139企業	106企業	245企業
	理学系	(n=150)	45.3	36.7	82.0%	68企業	55企業	123企業
	経済・経営・商学系	(n=125)	41.6	45.6	87.2%	52企業	57企業	109企業
必要性 別	必要だと思う	(n=403)	41.2	40.0	81.2%	166企業	161企業	327企業

※「採用したい・計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」と「採用したいと思うが採用人数未確定」の割合の合計値

※「採用意向企業・合計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」と「採用したいと思うが採用人数未確定」の企業数の合計値

※「採用想定人数・合計」は「採用したいと思うかつ採用人数確定」企業のQ11に対する回答に、「5～9名」=5名、「10名以上」=10名を代入して算出した合計値

## 卷末資料

•調查票

# 調査票

## 『長崎大学 情報データ科学部 情報データ科学科』(仮称、設置構想中)に関するアンケート

長崎大学では2020年4月より、「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                  |           |              |           |
|------------------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 農・林・漁・鉱業      | 5. 情報通信業  | 9. 不動産業      | 13. サービス業 |
| 2. 建設業           | 6. 運輸業    | 10. 飲食店・宿泊業  | 14. 公務    |
| 3. 製造業           | 7. 卸売・小売業 | 11. 医療・福祉    | 15. その他   |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 8. 金融・保険業 | 12. 複合サービス事業 | ( )       |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |            |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす | 5. 採用予定なし  |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  | 6. 見送り(中止) |

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                          |                  |                    |
|--------------------------|------------------|--------------------|
| 1. 情報工学・情報科学・データサイエンス学系統 | 6. 看護・保健・リハビリ学系統 | 12. 法学系            |
| 2. 工学系                   | 8. 観光学系          | 13. 文学系            |
| 3. 理学系                   | 9. 心理学系          | 14. 語学・国際関係学系      |
| 4. 農・水産学系                | 10. 教員養成・教育学系    | 15. その他( )         |
| 5. 医・歯・薬学系               | 11. 経済・経営・商業系    | 16. 学部や学問系にはこだわらない |

裏面へ続く→

# 調査票

長崎大学では、2020年4月に、  
新しく「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を設置することを構想しています。  
※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称、設置構想中)には、以下のようないい處があります。  
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力を感じますか。  
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例. ○○である。	→	1	(2)	3	4
A. 識をもち、ビジネス・観光・医療や、ロボット開発・システム開発の分野などで活躍できる人財を養成します。	→	1	2	3	4
B. 地元企業や自治体と協力して、実際の地域問題の解決に挑む「実社会課題解決プロジェクト」や、医療・観光分野のビッグデータを実際に扱う授業を通して、実社会の課題解決に必要な実践的能力を身につけます。	→	1	2	3	4
C. 1年次で数学、情報科学やデータ科学の基礎をしっかりと学び、2年次からコースを選択して学びますが、選択したコース以外の分野でも、自分の興味・関心や将来の目標に合わせて幅広く学ぶことができます。	→	1	2	3	4
D. 「データサイエンスコース」では、専門的なデータ分析・解析能力をもち、データから得られた知見によって社会問題の解決や新たな価値創造に貢献できるデータサイエンティストを養成します。	→	1	2	3	4
E. 「インフォメーションサイエンスコース」では、実践的な授業を通じて、情報科学の高度な専門性を備え、ITを必要とする幅広い企業・自治体で活躍できる人財を養成します。	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)は、  
これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う                    2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を卒業した学生について、  
採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う                    2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、長崎大学「情報データ科学部 情報データ科学科」(仮称)を卒業した学生について、  
毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名                                    3. 3名                                    5. 5名～9名                            7. 人数は未確定  
2. 2名                                    4. 4名                                    6. 10名以上

~質問は以上です。ご協力ありがとうございました。~